

安全データシート

1, 製品及び会社情報

製品名 トヨカゾールSGS-486
会社名 オリエンタル産業株式会社
住所 山梨県甲府市上条新居町180
担当部門 技術部
TEL 055-241-3221(代) FAX 055-241-5424
緊急連絡先 同上

2, 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

火薬類	: 分類対象外
可燃性/引火性ガス	: 分類対象外
可燃性/引火性エアゾール	: 分類対象外
支燃性/酸化性ガス	: 分類対象外
高压ガス	: 分類対象外
引火性液体	: 区分2
可燃性固体	: 分類対象外
自己反応性化学品	: 分類対象外
自己発火性液体	: 区分外
自己発火性固体	: 分類対象外
自己発熱性化学品	: 区分外
水反応可燃性化学品	: 分類対象外
酸化性液体	: 分類対象外
酸化性固体	: 分類対象外
有機酸化物	: 分類対象外
金属腐食性物質	: 区分外

健康に対する有害性

急性毒性-経口	: 区分4
急性毒性-経皮	: 区分外

急性毒性－吸入（気体）	: 分類対象外
急性毒性－吸入（蒸気）	: 区分外
急性毒性－吸入（粉塵／ミスト）	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	: 区分2A
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 区分外
発がん性	: 区分外
生殖毒性	: 区分1B
特定標的臓器毒性（単回暴露）	: 区分1（中枢神経系、視覚器、全身毒性） 区分3（麻酔作用、気道刺激性）
特定標的臓器毒性（反復暴露）	: 区分1（中枢神経系、視覚器）
吸引性呼吸器有害性	: 区分外
環境に対する有害性	
水性環境有害性（急性）	: 区分外
水性環境有害性（慢性）	: 区分外

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気。
 飲み込むと有害のおそれ（経口）
 強い眼刺激。
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
 臓器（中枢神経系、視覚器、全身毒性）の障害。
 眠気又はめまいのおそれ 呼吸器への刺激のおそれ。
 長期又は反復暴露による臓器（中枢神経系、視覚器）の障害。

取扱注意事項

〔予防策〕

保護手袋、保護眼鏡、保護面を使用すること。
 防爆型の電気機器・換気装置・照明器機・その他の器機を使用すること。
 使用時に飲食、喫煙を行わないこと。
 使用前に取扱注意書を読み、その注意にしたがって取り扱うこと。

取扱後は手を良く洗うこと。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

熱、火花、裸火などの着火源から遠ざけること。

噴霧した内容液、噴霧ガスを吸入しないこと。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

〔対 応〕

火災の場合、粉末、炭酸ガス、乾燥砂、対アルコール泡などの消火剤を使用すること。

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

暴露した場合、医師の診断、手当てを受けること。

気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること。

汚染された衣類を再度使用する場合は洗濯すること。

皮膚、頭髮にかかった場合直ちに汚染された衣類を取り除き石鹼と流水、シャワーで対象部を洗うこと。

皮膚刺激がある場合医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合、清浄水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズ着用時、容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。

〔保 管〕

換気の良い冷暗所で保管すること。

〔廃 棄〕

内容物・容器を各都道府県の規則に従って、専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3, 組成成分情報

成分名	含有量	CAS NO.	UN NO.
黒鉛	10～15	7782-42-5	
メタノール	80～85	67-56-1	1230
増粘剤	5～10	—	
その他の添加剤	0～5	—	

4, 応急処置

目に入った場合：清浄な水で十分に目を洗浄した後、直ちに眼科医の診断を受ける。

洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が良く行きわたるように洗浄する。コンタクトレンズを使用

している場合は固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。
皮膚に付着した場合：汚染された衣服、靴などを速やかに脱ぎ、多量の水または微温湯と石鹼で付着した部分を洗い流す。また、水泡、痛みなどの症状が出た場合には必要に応じて医師の診断を受ける。

吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移動させ、身体を毛布などで被い、保温して安静を保つ。必要に応じて医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：無理に吐かせないで、直ちに医師の診断を受ける。無理に吐かせるとかえって肺への吸引等の危険が増す。口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗浄する。

最も重要な徴候及び症状に関する簡潔な情報

咳、頭痛、めまい、息切れ、嘔吐、下痢、腹痛、意識喪失。

症状は遅れて発現することがあり、医学的な経過観察が必要である。

5, 火災時の措置

消火剤：粉末、耐アルコール泡、炭酸ガス、霧状の強化液等の各種消火剤による。

使ってはならない消火剤：冷却の目的で霧状水は用いても良いが、消火に棒状水を用いてはならない。火災を拡大して危険な場合がある。

特有の危険有害性：火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。極めて燃え易く、熱、火花、火炎で容易に発火する。

特定の消火方法：消火作業は可能な限り風上から行う。火災発生場所の周辺に関係者以外の立入を禁止する。火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。初期の火災の際には、粉末、炭酸ガス消火剤を用いる。大規模火災の際には泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。注水は火災を拡大して危険な場合がある。

消火を行う際の保護(保護具等)：保護衣を着用するほか、状況によっては、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。

6, 漏出時の措置

人体に対する注意事項：除去作業の際には必ず適切な保護具を着用する。大量の場合、漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立入を禁止する。

環境に対する注意事項：河川、下水道に排出され、環境への影響を起ささないようにする。

除去方法：漏出源を遮断し、漏れを止める。少量の場合には土砂、ウエス等で吸着させて空容器に回収し、その後を完全にウエス等で拭取る。

大量の場合は漏洩した液を土砂などでその流れを止め、安全な場所に導いた後、出来るだけ空容器に回収し、河川、下水道等に排出されない様に注意する。散水し、蒸気濃度を低下させ、火災の原因となることを防止する。

7, 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：保護手袋、長袖作業着、保護眼鏡、防毒マスク等の保護具を着用する。
 火気注意。炎、火花、高温体との接触を避ける。静電気対策を行い、作業着、靴等も導電性のものを使用する。
 使用する場合は局所排気装置等を使用する。
 取扱い場所で使用する機器類は全て、防爆型とし、接地を確実に行う。
- 保管：直射日光を避け、換気のよい場所に保管する。熱、スパーク、火炎及び静電気蓄積を避けるとともにみだりに蒸気を発生させない。ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。

8, 暴露防止対策

設備対策：ミスト、蒸気が発生する場合には発生源の密閉化、または排気装置を設ける。全ての電気機器は防爆型とすること。取扱い場所の近辺に、洗眼及び身体洗浄の為の設備を設ける。

管理濃度：200 ppm

許容濃度：日本産業衛生学会(2009年度版)

時間加重平均TWA：200 ppm 260 mg/m³

ACGHI(2009年度版)

時間加重平均TWA：200 ppm

保護具：

- 呼吸用保護具：有機ガス用防毒マスク
 保護眼鏡：普通眼鏡
 保護手袋：耐油性（不浸透性）保護手袋
 保護衣：耐油性長袖作業衣、保護長靴（導電性）

9, 物理的及び化学的性質

- | | |
|----------|---------------------------|
| 外観：黒色液体 | 臭気：アルコール臭 |
| 沸点：64.7℃ | 蒸気圧：12.3kPa (20℃) |
| 融点：-98℃ | 密度（嵩密度）：0.86~0.88（水を1として） |
| 揮発性：有り | 溶解度：水に可溶 |

初溜点：－ pH：－
引火点：12℃（密閉式） 発火点：429℃
爆発限界：7.3～36.5vol%
酸化性：無し 自己反応性・爆発性：無し

10、安定性及び反応性

安定性：通常の条件下では安定である。流動、攪拌等により、静電気が発生することがある。

反応性：強酸化剤と接触すると激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。

避けるべき条件：加熱、強酸化剤との接触を避ける。

危険有害な分解生成物：燃焼等により一酸化炭素等が発生する可能性がある。

11、有害性情報

急性毒性：経口 ラットLD50：1400mg/kg

 吸入 ラットLC50：>22500mg/kg

 経皮 ウサギLD50：15800mg/kg

局所効果（皮膚）：ウサギに対して20時間閉塞適用した試験において刺激性が見られなかったとのデータもある。

局所効果（眼）：ウサギでの眼刺激性試験では軽度から重度の刺激性の報告があるが回復性については明らかな記述が無いこと、および人で角膜の障害、強度の結膜浮腫が一過性に認められている。

感作性：有用な情報なし

慢性毒性・長期毒性：有用な情報なし

がん原性：現在のところ発がん性は確認できない

変異原性：有用な情報なし

催奇形性：有用な情報なし

生殖毒性：メタノールの生殖への影響に関して、証拠に基づく健康障害としての科学的判断がなされ人のデータは欠如しているが動物による影響は明確な証拠があることから、暴露量が十分であればメタノールが人の発生に悪影響を及ぼす可能性がある」と結論されている。

特定標的臓器・全身暴露（単回暴露）

ヒトの急性中毒症状として中枢神経抑制が見られ、血中でのギ酸の蓄積により代謝性アシドーシスに至る。そして、視覚障害、失明、頭痛、めまい、吐気、嘔吐、頻呼吸、昏睡などの症状があり、時に死に至ると記述されている。また、中枢神経系の抑制から麻酔作用が生じていると記載されている。

特定標的臓器・全身暴露（反復暴露）

ヒトの低濃度メタノールの長期被ばくの顕著な症状は広範な目に対する障害だったとする記述や職業上のメタノール暴露による慢性毒性影響として、失明が見られたとの記述がある。また、頭痛、めまい、不眠症、腎障害が表れたとの記述がある。

1.2, 環境影響情報

水生環境急性有害性

甲殻類 ブラウンシュリンプ LC50 900.73mg/L/24H 区分外

水生環境慢性有害性

難水溶性でなく、急性毒性が低いことから、区分外とした
残留性・分解性

急速分解性がある。

生体蓄積性

難水溶性でなく、急性毒性が低い。

1.3, 廃棄上の注意

廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者等に委託して処理する
容器を廃棄する場合は容器の中を洗浄してリサイクルするか、関連法規、自治体の
基準に従って適切に処分する。

1.4, 輸送上の注意

国際規制：

国連番号（UN No.）：1230 クラス：3 容器等級：II

海上規制情報：IMOの規定に従う

航空規制情報：ICAOの規定に従う

国内規制：陸上規制情報：消防法の規定に従う

海上規制情報：船舶安全法の規定に従う

航空規制情報：航空法の規定に従う

1.5, 適用法令

労働安全衛生法：名称を通知すべき有害物

名称を表示すべき有害物

有機溶剤中毒予防規則 第2種有機溶剤

消防法：危険物 第四類 アルコール類 危険等級II

毒物劇物取締法：劇物

船舶安全法：中引火性液体類

海洋汚染防止法：海洋汚染物質 Y類

16, その他の情報

《お願い》

- この「安全データシート」は、当社の製品を適正にご利用頂くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたものであり、通常の使用を対象としたものです。
- 本製品の使用方法については、この「安全データシート」をご参照の上、使用者の責任においてお決めください。
- ここに記載された内容は当社所有の情報によるものですが、情報の完全さを保証するものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づき改訂されることがあります。
- ここに記載された内容は情報提供であって、いかなる保証をするものではありません。